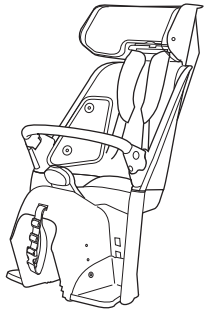


お客様へ

販売店様へ



組立・取扱説明書 リールベルト付後チャイルドシート

品番 NCD437S NCD453S NCD455S
NCD450S NCD454S NCD480S

この組立・取扱説明書は大切に保管してください。

販売店様へ

本紙ではリールベルト付後チャイルドシートの組立方法と使用上の注意について説明しています。よくお読みのうえ、正しく組み立ていただき、お客様に安全上のご注意と取扱い方法(7ページ～裏表紙)を説明の上、お客様によくお読みいただくようご指導いただき、組立後はお客様に手渡していただきますようお願い申し上げます。

お客様へ

- ご使用前に「安全上のご注意」(下記～4ページ)を必ずお読みください。
 - ご使用の際は、本紙とあわせて、当社製電動アシスト自転車本体の取扱説明書をよくお読みください。
 - イラストはイメージ図を使用しています。形状やデザインが実際と異なる場合があります。
 - 適合自転車、お子様の適用範囲の記載および取扱説明書の記載を守らない場合には、SGマーク制度の賠償対象外になるおそれがあります。
 - SGマーク制度は、チャイルドシートの欠陥によって発生した人身事故に対する補償制度です。(新品で購入した日より3年間)
 - 小学生以上の児童を同乗させることは、道路交通法違反となり、違反の場合はSGマーク制度の賠償対象外となるおそれがあります。
- 同乗させることができる幼児の年齢についてはお住いの警察署等にご確認ください。

安全上のご注意

必ずお守りください。お客様、販売店様、両方がご確認ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

お願い

- これは自転車用のチャイルドシートです。ほかの目的に使用しないでください。
- 自転車の交通法規を守ってください。
- 装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行してください。
- 幼児にはヘルメットを着用させてください。安全のため、運転者もヘルメットの着用をお勧めします。
- 取付作業は販売店で行ってください。
- チャイルドシートを雨ざらしにしないでください。
- 悪路走行やアクロバット走行を行わないでください。
- 火気高温に近づけないでください。
- 汚れは水を含ませた雑巾などでふき取ってください。シンナー・ベンジンなどは付着させないでください。

幼児用自転車ヘルメット(別売オプション)

- ・NAY009(マットブラック)
- ・NAY010(マットレッド)
- ・NAY011(マットネイビー)
- ・NAY012(マットカーキ)
- ・NAY013(マットイエロー)
- ・NAY014(マットオレンジ)

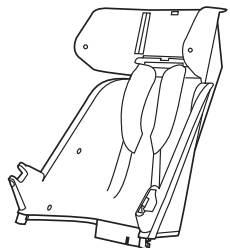
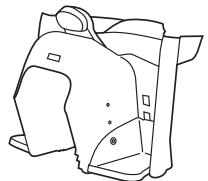
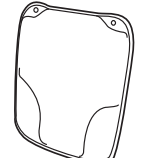
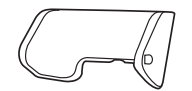
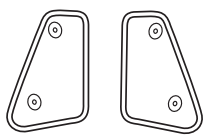
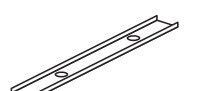
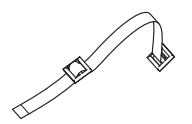
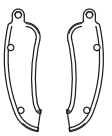
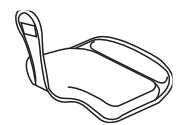
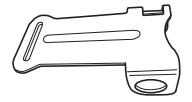
安全上のご注意

お客様がご確認ください。

- お知らせ
- 本チャイルドシートの質量は約 5 kg です。
 - 16 歳未満の方は、幼児を乗せて使用することは法令で禁止されています。
 - 自転車に取り付けられるチャイルドシートは、一般車で1つ、幼児 2 人同乗用自転車で前後に各1つに限ります。
 - ギョットシリーズ(幼児 2 人同乗用自転車) 以外の自転車に取り付けるチャイルドシートは、1 つに限ります。
 - ギョットシリーズ(幼児 2 人同乗用自転車) 以外に、この後用チャイルドシートを取り付ける場合は、前に幼児をのせないでください。
 - 本品を推奨していない他の自転車に取り付ける場合は、次の点をすべて満たしているか確認してください。
 - ・22 ～ 27 型シティ車(婦人車・軽快車など)
 - ・ロック付両立スタンドが装着されている(1 本スタンドは不可)
 - ・ドレスガードが装着されている
 - ・自転車の取扱説明書に、組み付け可能の記載がある(組み付けが禁止されている自転車には組み付けないでください)
 - ・専用リヤキャリア(クラス 27) が取付可能
 - ・(上記のリヤキャリアが取り付けられない場合は、交換・組み付けをした上で、本チャイルドシートを組付けてください)
 - ・取扱説明書で判断できない場合は自転車販売店に必ず相談してください
 - 適用体重は、体重 21 kg 以下(クラス 25 リヤキャリア使用時)、体重 22 kg 以下(クラス 27 リヤキャリア使用時)。
 - 乗せることができる幼児は、年齢 1 歳(12 か月) 以上、小学校就学の始期に達するまで、身長 115 cm 以下です。(乗車は 2 歳以上を推奨します)。
 - 小学生以上の児童を同乗させることは道路交通法違反となり、違反の場合は SG マーク制度の賠償対象外となるおそれがあります。
 - 適合自転車、お子様の適用範囲の記載および取扱説明書の記載を守らない場合には SG マーク制度の賠償対象外になるおそれがあります。
 - 幼児を乗せる場合は、ハンドルがふらつき、不安定になる場合があります(特に、発進時、低速走行時、カーブや下り坂での走行時、幼児が不意に動いたときなど)。また、ブレーキ操作時、制動距離が長くなります。

部品構成

販売店様がご確認ください。

部品構成				
 本体上部 1 個	 本体上部 1 個	 背クッション 1 個	 グリップバー 1 個	 ヘッドレスト (ライナー部) 1 個
 サイドクッション 右左各 1 個	 取付ステー 1 個	 M5 固定ねじ 4 個	 グリップバー ねじセット 1 セット	 ヘッドレスト固定ねじ 2 個
				 キャップ 3 個
 M6 取付ねじ 4 個	 M5 ねじ切座金 4 個	 補助ベルト(長: 350mm)	 補助ベルト(短: 230mm) ※ NCD437S/450S には 付属なし	 セーフティーキャップ 2 個
 シートベルトクッション 1セット	 シートクッション 1 個	 補助ベルト金具 (※ NCD437S/450S のみ付属)	お知らせ ●組み付けには専用のリヤキャリアが必要です。 ●車種により、使用しない部品があります。	

安全上のご注意

お客様がご確認ください。

警告

■チャイルドシートに幼児を乗せているときは、短時間であっても、自転車から手を離さない

禁止

不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■適用年齢、体重制限、自転車のリヤキャリアに表示されている積載重量、身長制限、定員を守る

■乗車および走行中は、必ず幼児にグリップを持たせ寝ないように留意する

■乗車および走行中は、必ず幼児にシートベルトを着用させ、正しい姿勢であることを確認する

必ず守る

！

幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■急ブレーキ、急ハンドルは避ける

必ず守る

！

転倒や衝突によるけがのおそれがあります。

■幼児の乗せ降ろしの際は、ハンドルをまっすぐにした状態で平坦な場所に駐輪し、必ずスタンドロックをして行う

必ず守る

！

不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

スタンドロック

■チャイルドシートに幼児を座らせている場合、可動部に触れさせない

禁止

車輪やギヤや錠に手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

■走行中は、幼児の足が車輪に巻き込まれないよう、ステップに足部が乗っているか確認する

必ず守る

！

幼児の足が車輪に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

■使用するときは、リヤキャリア取付ねじも含め、ねじなどの緩みが無く、取付が確実であることを確認し、破損、変形などしたままでの使用はしない

■自転車に同乗させるお子様は、一般の自転車では1人、幼児 2 人同乗用自転車では前後に各1人に限り使用でき、幼児の年齢・体重および身長の範囲を守る

禁止

幼児が落下して、けがをするおそれがあります。

■乗車および走行中は、必ず幼児にヘルメット(SG 規格適合の自転車用ヘルメットと同等以上のもの)を着用させる

必ず守る

！

幼児がけがをするおそれがあります。



●ヘルメットを着用させないでチャイルドシートに子供を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなりますが、着用させた場合は軽傷で済むことが報告されています。

■ステップは、必ず幼児の体形にあった位置に調整し、取り外したりしない

■幼児を乗せるときは、必ず靴をはかせる

必ず守る

！

幼児がけがをするおそれがあります。

■炎天下での駐輪時、チャイルドシートが熱くなっているか確認してから幼児を乗せる

必ず守る

！

幼児がやけどするおそれがあります。

■幼児は荷物などよりも後に乗せ、最初に降ろすこと

必ず守る

！

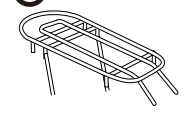
不安定で自転車が転倒し、幼児が落下してけがをするおそれがあります。

■「はしご形」のパイプキャリアなど、外枠だけのリヤキャリアには取り付けない

禁止

取付ステーが反って変形する場合があります、使用中に振動などで締付けが緩み、チャイルドシートが脱落するおそれがあります。

○



×



はしご形

2

3

安全上のご注意（つづき）

お客様がご確認ください。

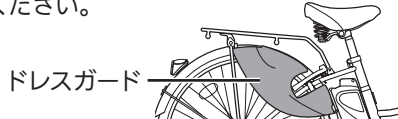
警告

■幼児を2人乗せることにより全体の質量が増大し、衝突などの際の衝撃が大きくなり同乗幼児および乗員の被害が大きくなるので十分に注意する。また、歩行者等と衝突した場合には歩行者などの被害が大きくなるので十分に注意する

必ず守る  バランスを崩し、接触事故等によるけがのおそれがあります。

■リヤキャリア取付式チャイルドシートを取り付けるときはドレスガードも取り付ける（取り付けてあるか確認する）

必ず守る  車輪に手足を巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
●ドレスガードが装備されていない場合は、販売店にご相談ください。



■幼児を乗せたまま自転車を押し歩きするとき、ハンドルを大きく切らない

禁止  ハンドルを大きく切った際に、前輪が意図しない回転をして、転倒によるけがのおそれがあります。
●傾斜面や路面の凹凸があるところでは、特に起こりやすくなりますのでご注意ください。

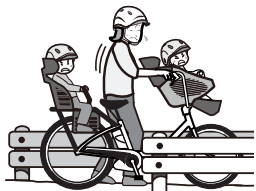


■幼児を乗せた状態での押し歩き、スタンド操作時などの場合はハンドルをしっかり押さえる

必ず守る  幼児を乗せた状態での押し歩き時、スタンド操作時などでは重心が後寄りとなり、後方へ転倒して幼児がけがをするおそれがあります。

■幼児を乗せたまま自転車を押し歩きするとき、狭いところや混雑した場所には進入しない

禁止  乗せている幼児の動き、路面の凹凸・傾斜などにより、自転車の立て直しができずにバランスを崩し、転倒によるけがのおそれがあります。



■幼児にチャイルドシートのステップ部分を踏み台にして乗り降りさせない

■幼児にステップおよび座面の上に立ちあがらせない
■幼児にチェーンケースやフレームを踏み台にして乗り降りさせない

禁止  ステップ部やチェーンケースが変形・破損したり自転車が倒れたりして、幼児がけがをするおそれがあります。

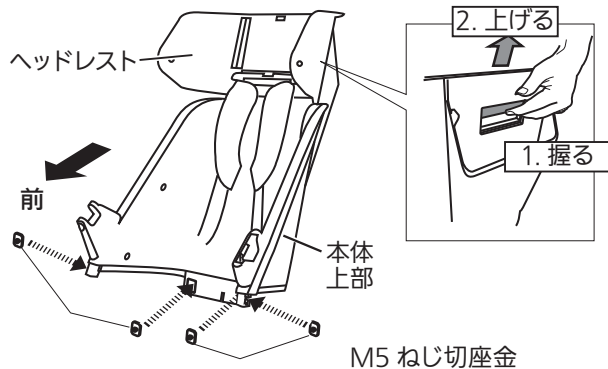


チャイルドシート本体の組み立てかた

販売店様がご確認ください。

1. 本体を組み立てる

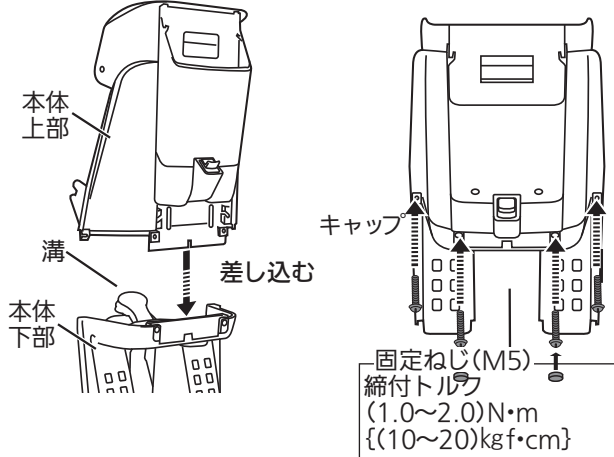
①チャイルドシートの上部のヘッドレストを引き上げ、所定の位置に M5 ねじ切座金を差し込みます。



ご注意

●シートベルトが、ねじれないようにご注意ください。

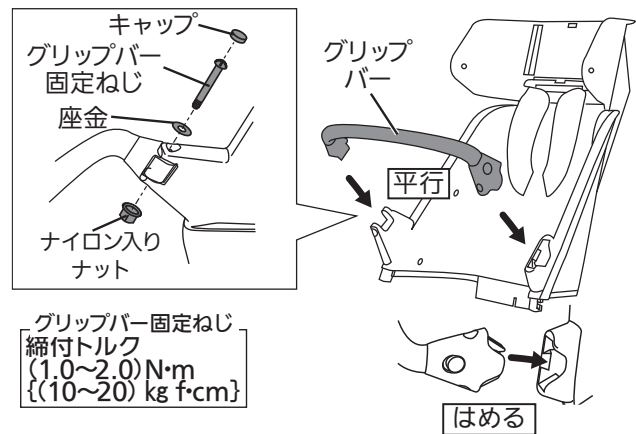
②本体の上部を、本体の下部の溝に差し込み、固定ねじでしっかりと固定し、キャップを押し込みます。



チャイルドシート本体の組み立てかた

販売店様がご確認ください。

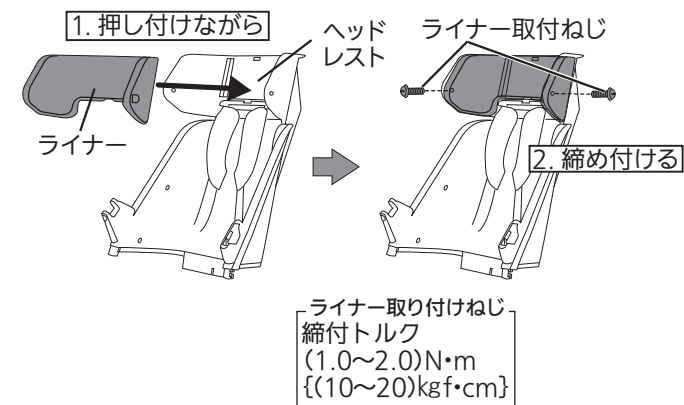
③チャイルドシート本体にグリップバーを平行に挿入し、組み付けます。



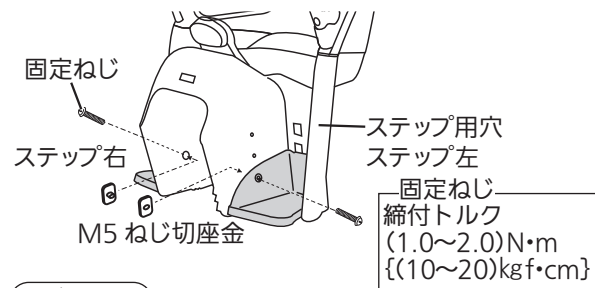
④ヘッドレストにライナーをライナー取付ねじで取付けます。

ご注意

●ライナーをヘッドレストに押し付けながらライナー取付ねじを締め付けてください。



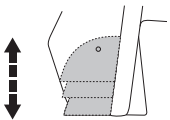
⑤左右ステップを本体のステップ用穴に差し込んで、突き当たるまで下方へスライドさせ、固定ねじで固定します。



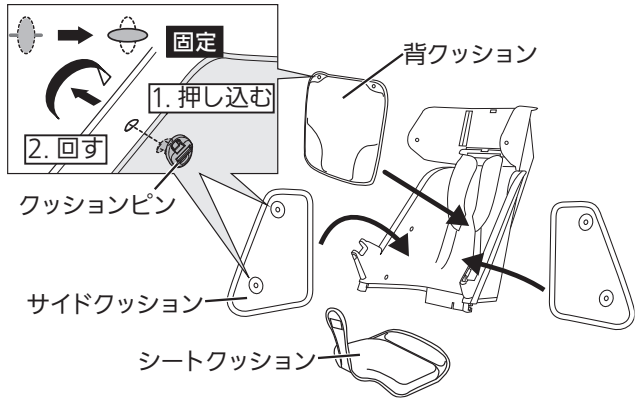
ご注意

●差し込み部分が確実にはまっていることを確認してください。

●ステップの高さは3段階に選択できます。必ず左右のステップが同じ高さになるようにしてください。

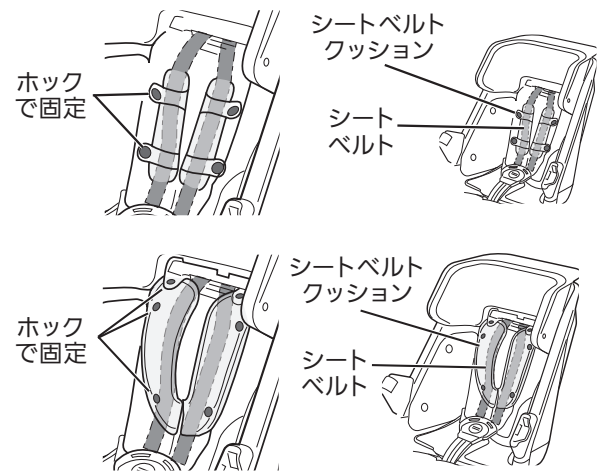


⑥各クッションを取付けます。クッションピンのツメをチャイルドシートに押し込みながら 90° 回して固定します。

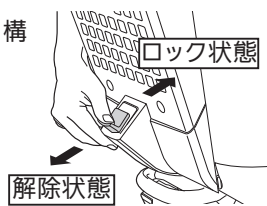


⑦下図のようにシートベルトのクッションを取付けます。

●シートベルトクッションは、製品品番によって2種類あり、組み付け方法は下記のどちらかです。



⑧シートベルト長さ調節機構の確認をする。



警告

■自転車のリヤリフレクターに対して、後方からの視認を妨げないように組付ける

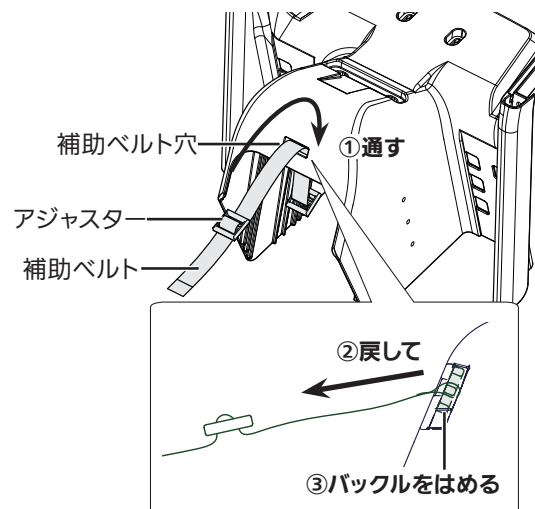
必ず守る  視認性が低下し、接触事故等によるけがのおそれがあります。

チャイルドシート本体の組み立てかた

販売店様をご確認ください。

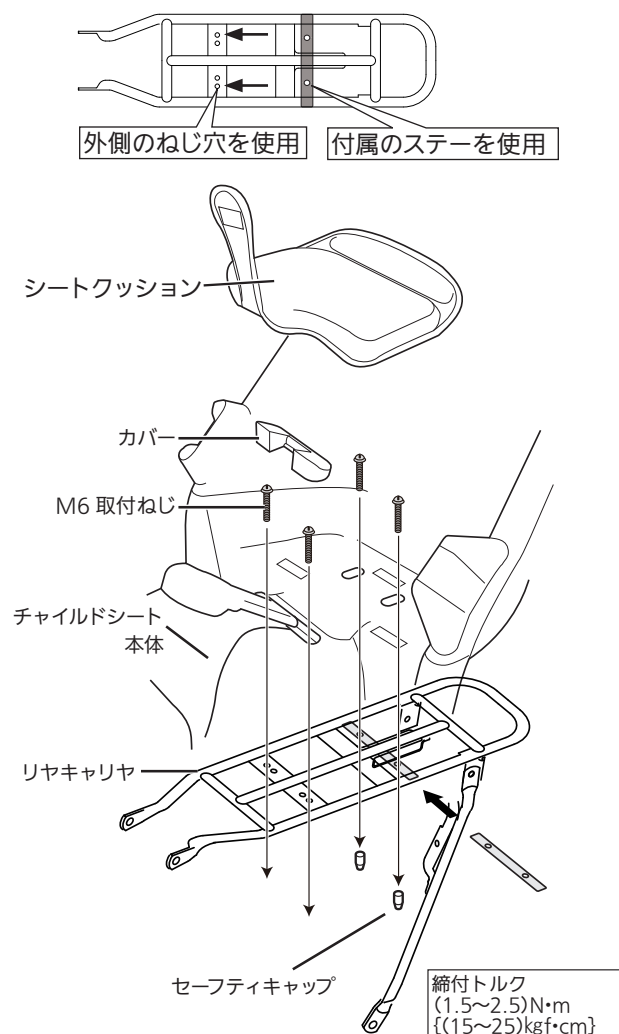
2. 補助ベルトをチャイルドシートに組み付ける

①下図のように補助ベルトをチャイルドシートに組み付けます。



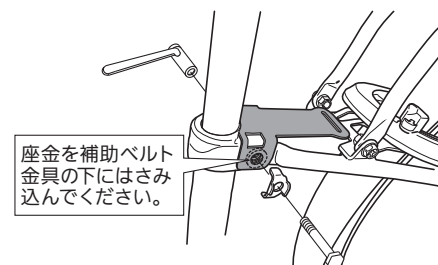
3. リヤキャリアに組み付ける

①外側のねじを利用して組付けてください。



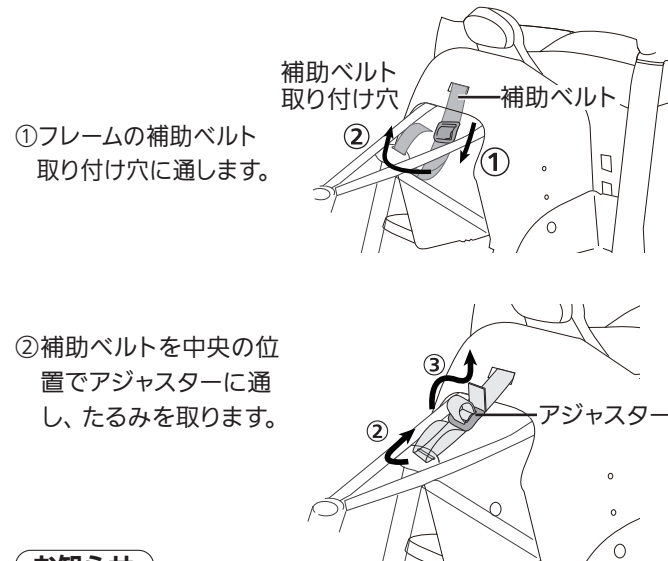
4. 補助ベルトを組み付ける

●フレームに補助ベルト取り付け穴がない場合



シートポストを最上まで引き上げ、図のように補助ベルト金具をはさみ再度シートピンを組み付けてください。

●フレームに補助ベルト取り付け穴がある場合



お知らせ

●フレームの補助ベルト取り付け穴は、車種により位置が異なりますが組み付け方法はほぼ同じです。(どろよけ組付け用ブリッジ側に取り付け穴がある場合があります。)

お願い

- 補助ベルトにたるみがないか確認してください。
- 補助ベルトの寿命は約2年です。外観上異常がなくても定期的に交換してください。
(品番：NCD011B 長：350mm)
(品番：NCD014B 短：230mm)



警告

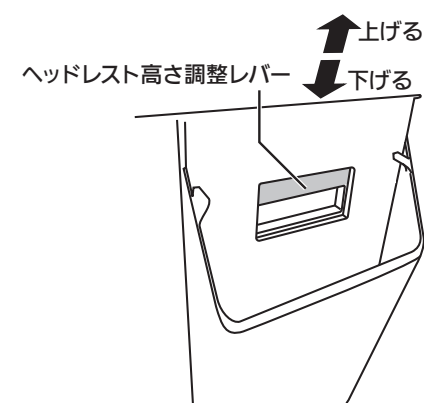
■補助ベルトをたるませたまま走行しない

車輪、駆動部などに巻き込み、転倒によるけがのおそれがあります。

●補助ベルトの余った部分は、アジャスターに通して調整してください。バックルが外れた状態での乗車はしないでください。

ヘッドレストの調整

お客様をご確認ください。



ヘッドレスト高さ調整レバーを握り、高さを調整する

お願い

- お子様がチャイルドシートに着座したとき、ヘッドレストが、お子様の頭部の中心(耳の上)より高くなるように調整してください。

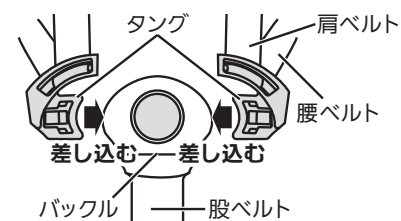


注意

- 必ず守る ■ヘッドレストの上下スライド時に、手や指の位置を確認する(指を挟み、けがのおそれ)
- 禁止 ■ヘッドレスト高さ調整レバーを握らずにヘッドレストを上下させない(ヘッドレスト高さ調整のストッパーが摩耗したり破損するおそれ)⇒ヘッドレストが振動などで下がり、適正位置に調整できなくなります。

シートベルトの着脱

お客様をご確認ください。



タングを、バックルに差し込む

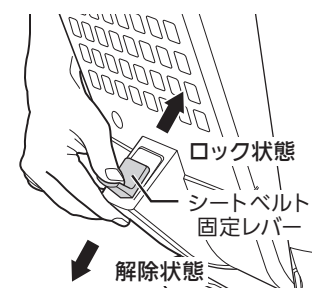
外すとき



バックルの中心にあるボタンを押してタングを外す

シートベルトの長さ調節

お客様をご確認ください。



縮めるとき

チャイルドシート背面のシートベルト固定レバーを後側(図の解除側)に押し、バネの力で縮む

伸ばすとき

チャイルドシート背面のシートベルト固定レバーを後側(図の解除側)に押し、シートベルトの固定を解除しながら、左右のシートベルトを手で引っ張って伸ばす



お願い

- 必ずシートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)が止まっているか確認してください。
- お子様の首に巻きついたり、身体を圧迫したりしないように留意してください。
- シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意してください。
- 乗車中にお子様がバックルを外さないように注意してください。
- 幼児を乗せないときでも、バックルはタングに差し込んで座面から落ちないようにしてください。
- シートベルトの寿命は約2年です。外観上異常が無くても販売店にて定期的に交換してください(品番 NCB285S)。

グリップバーの開閉

お客様がご確認ください。

- ①グリップバーをはめる
- ②必ず手前に引いて、外れないことを確認する

警告

■グリップバーが確実に固定されていることを確認する
必ず守る (お子様が落下してけがをするおそれ)

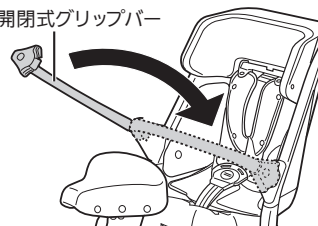
注意

■グリップバーの開閉時に、手や指の位置を確認する
必ず守る (指を挟み、けがのおそれ)

お知らせ

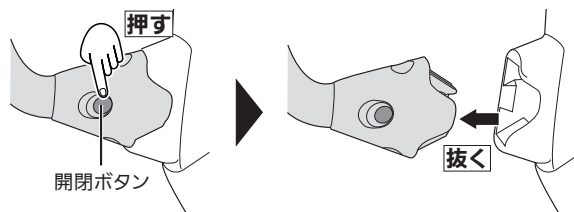
- 指挟み防止のため、グリップバーは 90° 開いた状態で止まります。必要以上に開けようとするストッパーを乗り越えて、戻せにくくなる場合がありますので、無理に開きすぎないようにご注意ください。

開閉式グリップバー



外すとき

開閉式グリップバーの開閉ボタンを押して、抜く



使いかた・お手入れ・修理などは **まず、お買い上げの販売店へ** ご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名 _____ 品 番 _____
電 話 () _____
お買い上げ日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

転居や贈答品などでお困りの場合も、
まず、お買い上げの販売店へ

ご相談ください。

それでもお困りの場合は右記の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（ひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



商品に関する、お客様ご相談窓口

【受付時間】9:00～18:00 月～土曜日（祝日・正月三が日を除く）

電話 **0120-781-603**（通話無料）

※ 携帯電話・PHS からご利用になれます。

■ 上記電話番号がご利用いただけない場合 **072-977-1603**

■ FAX **072-977-5611**



【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック サイクルテック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック サイクルテック株式会社

〒582-8501 大阪府柏原市片山町13番13号